

Information

第18回日本在宅医学会大会 第21回日本在宅ケア学会 学術集会 合同大会

日時▶7月16日(土)17:10~18:20・17日(日)15:30~17:00

会場▶東京ビッグサイト TFT ビル (東京都江東区)

プログラム▶

【1日目】

市民公開講座「そうだ、在宅でよう、この町に」徳永進 (野の花診療所)

【2日目】

市民公開シンポジウム「自分らしく旅立つために」上野千鶴子 (東京大学, ウィメンズアクションネットワーク), 秋山正子 (白十字訪問看護ステーション, 暮らしの保健室), 辻彼南雄 (水道橋東口クリニック, ライフケアシステム)

※詳細は下記合同大会サイトを参照

対象▶在宅医療に関わる全ての職種

参加費▶〈医師, 歯科医師, 企業〉会員 1 万 7000 円, 非会員 1 万 8000 円, 〈コメディカル, 介護専門職 (介護, 介護支援業務に従事する方), 一般〉会員 8000 円, 非会員 9000 円

〈大学院生を除く〉学生 3000 円

問い合わせ先▶プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9 階

☎ 03-5520-8821

FAX 03-5520-8820

✉ zaitaku-joint@procomu.jp

合同大会サイト <http://www.procomu.jp/zaitaku-joint2016/program.html>

市民公開講座 ユマニチュードという革命

日時▶8月7日(日)13:00~16:20

会場▶上智大学 10 号館講堂 (東京都千代田区)

プログラム▶基調講演「ユマニチュードという革命—ケア技法の創始者ふたりが語るその哲学 (同時通訳)」ロゼット・マレス

コッティ (ジネスト・マレスコッティ研究所), イヴ・ジネスト (同) / シンポジウム: ケアの科学的分析と実践「認知症情報学から考えるケア分析」石川翔吾 (静岡大学), 「IT 技術をケアの学びへ」坂根裕 (株式会社デジタルセンセーション), 「科学的分析に基づいたケアの実践」調布東山病院看護部, 「総合討論」竹林洋一 (静岡大学), イヴ・ジネスト

参加費▶無料 (※要事前登録)

申込▶下記ホームページより

<http://seizon.umin.jp>

中西睦子看護学 先端的研究基金 第1回研究助成候補者募集

主旨▶わが国の看護の質的向上を通じ, 国民の保健医療福祉の向上に寄与することを趣旨として, 保健医療福祉施設および地域等において, 看護実践の成果の可視化および理論化を図ろうとする看護師に対して研究助成金を支給し, これらの者の研究を援助することを目的とする

助成金について▶

①1 件 200 万円以内, 約 5 人に交付予定
※助成金使用期限は研究終了時まで (最長 3 年)

②助成金使用内訳制限

・パソコンなどのハード購入費は 20 万円以内とする

・パソコンなどのソフト購入費は 10 万円以内とする

・授業料, 学会参加費, 論文作成費, データ入力およびテープ起こしなどに対する謝金は助成対象外

応募資格▶次の全ての条件を満たす者

①日本国籍を有し, 厚生労働大臣の免許を受けている看護師

②修士・博士の学位を有する現場の看護職 (個人またはグループ) で, 実践の成果の可視化, もしくは理論化を図ろうとする研究を行おうとする者

③これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者

応募方法▶所定の申請書 1 通を提出 (下記申込先に郵送)

・各用紙への記入は PC など活字入力 (手書き禁止)

・所定の申請書以外に書かれたものは, 審査対象外。様式を変更したり, 複数ページに記入した場合, 応募は無効。A4 用紙 4 枚, 片面印刷 (両面印刷不可)

・書類は返却しない

・申請書は, 下記ホームページよりダウンロードのこと

助成金受給者の義務▶

①研究成果の報告書 (会計報告書を含む) を受給後 3 年以内に下記受託者に提出

②研究終了時には, 論文要旨の写しを下記受託者に提出

③研究論文を公表する場合には, 「この研究は, 公益信託中西睦子看護学先端的研究基金より助成を受けた」旨を記載すること

④当公益信託の運営委員会で研究成果の報告をすることがある

募集期間▶8月23日(火)必着

審査方法・通知▶当公益信託の運営委員会で書類審査の上, 2016 年 11 月頃に志望者に結果を通知

助成金交付期日▶2016 年 12 月 (予定)

その他▶

①助成金は, 指定の銀行口座などへ振り込む

②所属機関への委任経理とする場合, 間接経費の使用および使用者の変更は認めない

申込・問い合わせ先▶三井住友信託銀行リテール受託業務部 公益信託グループ 公益信託中西睦子看護学先端的研究基金申請口

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

☎ 03-5232-8910 (平日 9:00~17:00)

FAX 03-5232-8919

<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

日本訪問看護財団 2016 年 7~8 月研修

◎精神障がい者の在宅看護セミナー

日時▶8月26日(金)~28日(日)

3 日間・20 時間以上の研修

会場▶高知県立大学 (高知市)

対象▶精神科訪問看護に従事する看護職員、作業療法士など

ねらい▶地域で暮らす精神障がい者と信頼関係を築き、医療の継続支援や病状悪化の早期対応などを含め、精神科訪問看護の知識・技術を習得する

プログラム▶精神保健福祉の現状と動向／精神科訪問看護の動向と報酬・制度の活用／精神障がい者の病態・薬物療法／精神科訪問看護の基礎・アセスメント／病状悪化の早期発見・危機介入／利用者との信頼関係／精神科訪問看護の実践／利用者・家族を地域で支えるための多職種連携

講師▶望月聡一郎（厚生労働省）、山崎正雄（高知県精神保健福祉センター）、萱間真美（聖路加国際大学）、田井雅子（高知県立大学）、鈴木孝典（高知県立大学）、吉野百合（松山記念病院）、白石賢吾（松山記念病院）、佐藤美穂子（日本訪問看護財団）

受講料▶会員 2 万円、非会員 4 万円

※精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たすセミナー、全講義受講者には修了証発行

●小児訪問看護の実践力向上と普及のための研修

日時▶8 月 27 日(土)・28 日(日)

会場▶アクセス青山フォーラム（東京都港区）

対象▶小児訪問看護に従事する看護師

定員▶40 名

ねらい▶小児の退院時支援および、小児訪問看護に必要な知識・技術、特に呼吸と栄養の管理ができる／家族を理解し、支援ができる／医療ケアを必要とする障がい児とその家族を地域で支えるために保健・医療・福祉・教育などの社会資源を活用した支援ができる

プログラム▶障がい保健福祉の施策と動向および制度の活用／小児の退院支援の実践／小児訪問看護の実践と多職種協働、ネットワーク化／小児疾患の理解／小児のフィジカルアセスメントと救命処置／呼吸および栄養に関する技術の演習（シミュレート使用）

講師▶田中真衣（厚生労働省）、雨宮馨（さいわいこどもクリニック）、岡田たみえ（東京都立大塚病院）、佐藤友美（埼玉医科

大学）、田中道子（あすか山訪問看護ステーション）

ファシリテーター▶佐藤友美（埼玉医科大学）、鈴木恵子（東京都立大塚病院）、佐藤知美（東京都立大塚病院）、齊藤泰子（あすか山訪問看護ステーション）、小松恭仁子（あすか山訪問看護ステーション）

受講料▶会員 1 万 5000 円、非会員 3 万円

【以下共通】

申込・問い合わせ先▶日本訪問看護財団
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
日本看護協会ビル 5F

☎ 03-5778-7005（研修担当）

FAX 03-5778-7009

<http://www.jvnf.or.jp/>

北海道医療大学 看護福祉学部学会 第 13 回学術大会

日時▶9 月 3 日(土)10:00～

会場▶北海道医療大学 札幌サテライト
キャンパス・ACU（札幌市中央区）

メインテーマ▶多職種協働による当事者主体のケア

プログラム▶講演「地域包括ケアセンターの将来構想」小林正伸（北海道医療大学）／特別講演「当事者主体の認知症ケア—ユマニチュード®」伊東美緒（東京都健康長寿医療センター）／シンポジウム「多職種協働によるベストプラクティス—食べる喜びを求めて」大久保抄織（介護老人保健施設エル・クオール平和）、五十嵐あけみ（特別養護老人ホーム青葉のまち）、源間隆雄（札幌麻生脳神経外科病院）、川上智史（北海道医療大学）

参加費▶〈～8/19〉会員 2000 円、非会員 2500 円

〈当日〉一律 3000 円（午前の部のみは無料）

※情報交換会（17:30～ホテル札幌ガーデンパレス、要事前申込）別途 3500 円

申込・問い合わせ先▶学会事務局

✉ gakkai13kai@hoku-iryo-u.ac.jp

<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/>